

中津山の宮を
 新んうよく
 とれ右のとお月にかける。
 あのとつるをよくとれ
 か、それとて焼くし
 るものなり。
 高橋、舟随、増田氏と
 通しし。

旅中お世話を
 かけし方
 にあつた。

十と

伊藤

木佐修

君

東京
 杉並区
 一ツ木
 伊藤
 整